

持続可能なまちづくりに向けて



近年、産業構造の変化や経済圏の拡大、通信の発展や SNS や仮想空間の利用などによる、コミュニケーションの劇的な変化が加速度的に起きています。市内多くの地域において地縁団体を通じた地縁型コミュニティは希薄化が進み、一部の地域では地域性のある機能型団体を通じて目的型コミュニティを創出維持し、地域コミュニティを維持していこうとしています。

東郷においても、「東郷街道おつくね祭」や「せせらぎコンサート&堂田川ライトアップ」を通じて素晴らしい地域資源を活かしつつ、活力と魅力ある東郷を維持しつつ、次世代に引き継いでいくことが求められています。

- ・豊かな自然や歴史(地域資源の活用)
- ・人が集まり、元気なまち(定住人口の増加)
- ・子育て環境や、他人にやさしいまち(教育・医療・福祉環境)
- ・交通網が充実し、住みやすい環境(地域拠点機能)

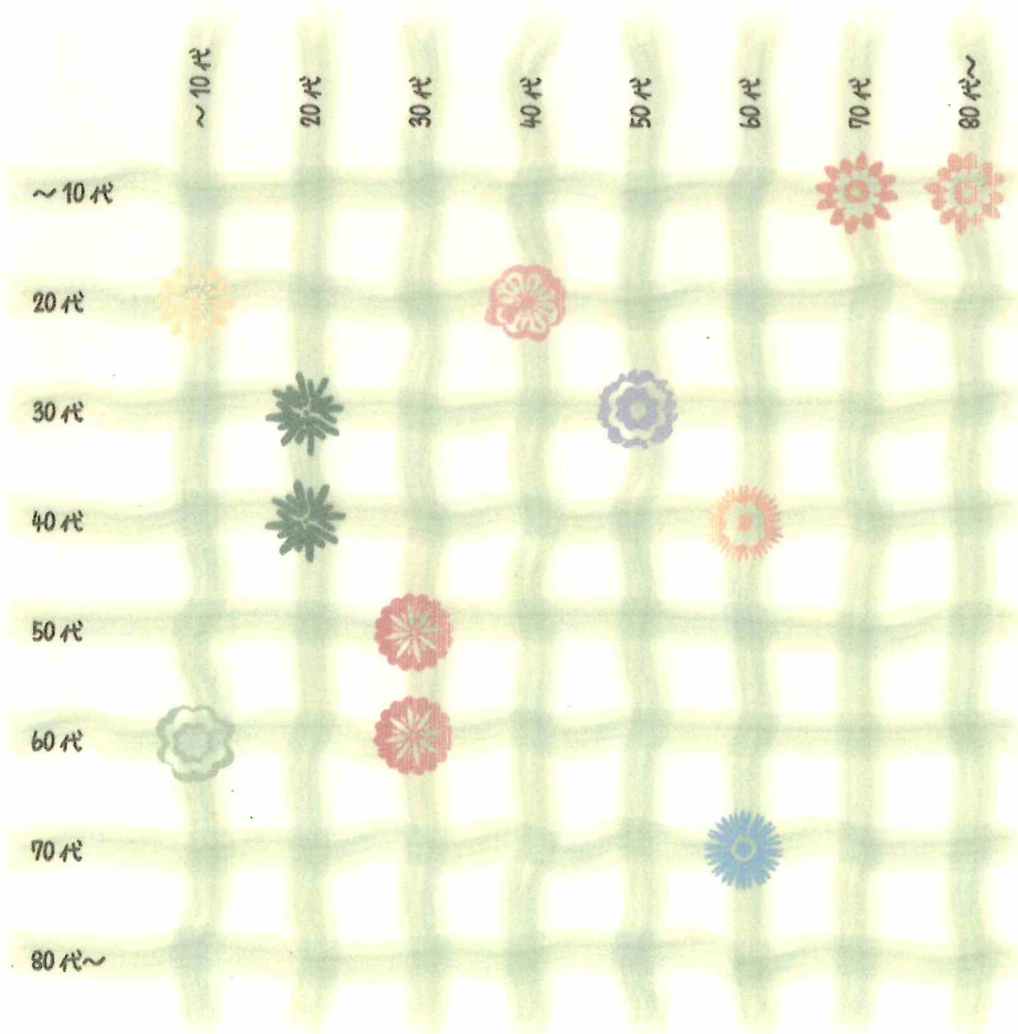
東郷を維持発展させ、次世代に引き継ぐ為に

各年代の横のネットワークを更に強化し、

年代間の縦のリンク(接点)を増やしていく事で、

年代を問わず交流できる地域コミュニティの基盤を強化していきます。

縦横しっかり織り込まれたコミュニティからは若年層の各年代からも年代を代表するリーダーが自然に発生し、上の年代からは学び、下の年代には伝え、東郷のまちづくりを持続させ続けてくれると期待しています。



1. 横のネットワーク強化

- ・各年代に適した連絡体系の模索
- ・定年制度

2. 縦のリンク(接点)を増やす

- ・違う年代間を結ぶ小規模事業や仕掛け

3. 地縁団体との協働とリバランス・リミックス

- ・地縁団体の役割や効果などを再度伝える
- ・今後の地縁団体の在り方を協議し強化していく

4. 時代に合わせた流動化

- ・社会的環境の変化に順応しやすい環境づくり
- ・定期的なビジョンの検証と再構築の場を設定する

5. 地域課題の抽出

- ・東郷地域の課題を抽出し、「課題解決」へ向けて協力していく。

【直近の課題】

- ・コミュニティバスの利用促進
 - 一定期間無料にする等、乗車率向上の為の施策
 - 運行時間の見直し
 - コミュニティバスを利用を組み込んだ小規模事業の開催
- ・JA 跡地活用
 - コンベンション施設を備え、防災拠点機能を持った複合施設の建設
 - 野菜直売などができる商業施設
 - 観光案内所や自転車の基地など、地域観光の拠点施設
- ・空家対策
 - 小学生を対象にした駄菓子屋など1日3時間程度の営業を行う小店舗を運営
 - 一棟単位で借り上げ、改修し、一棟貸しの宿泊施設の運営やゲストハウスの運営
 - 各年代で一棟ずつ受け持ち、おもてなし施設や小規模商店の運営

【課題の周知】

- ・住民アンケートを利用した周知
- ・わいがややフォーラムやセミナー等、周知と議論の場の提供